

# あべちゃん通信

令和3年秋号

発行者 福岡県議会議員 安部 弘彦

# No.5



## ごあいさつ

私の福岡県議会議員としての活動がすでに2年半経ちました。この間、私は皆様方の日々の生活における安心・安全の担保を最優先にし、明るく豊かな生活の基盤となる皆様の健康増進と各種産業のより一層の発展による「町おこし」や所得の増加を目指す活動を力強く進めて参りました。

猛威を振るった新型コロナウイルスからの出口も見え始めた昨今、この国難が日本や世界を新たな期待できる世界へと生まれ変わる転機に繋げたいものです。今後も引き続き、皆様方のご期待に沿えるよう一層努めてまいります。ご意見・ご要望などお気軽にお持ちください。

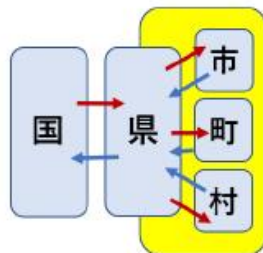
今回の「あべちゃん通信」では、4月および5月の臨時会と6月定例会の報告及び、一般質問を行った9月定例会の報告を掲載しました。御一読ください。

## 県議会議員の役割（県議は国と市町村との橋渡し役）



○市町村を包括する

- ・複数の市町村にわたるもの
- ・全県に関係するもの（水道・河川・道路・教育・保健衛生・福祉・環境・町づくり等）
- ・国・都道府県・市町村との連絡調整
- ・大きな財政力を必要とするもの・高度な技術や専門的な能力を必要とするもの



(イメージ図)

**募集中**

授産施設（障がい者の就労支援施設）への仕事を依頼したい方は、お申し出ください。つなげる協力をさせていただきます。

お問合せは、あべ弘彦事務所まで。

TEL:093 (701) 6600

## 「県議会だより」より

【概要】『4月臨時会』においては、新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算案 256億 3,700万円余、副知事・教育長の人事などが原案のとおり可決されました。

『5月臨時会』においては、①「感染拡大防止」、②「医療提供体制の強化」、③「事業継続の支援」に関する補正予算案 754億 4,700万円余が原案のとおり可決されました。

『6月定例会』においては、知事より、新型コロナウイルス感染症対策、地下鉄福岡空港駅と福北ゆたか線の接続可能性の調査費など計 30件とワクチン優先接種経費など補正予算議案 2件が追加、合計 32件の議案が審議され、いずれも可決・同意されました。また、閉会日、吉松源昭議長および江藤秀之副議長の辞職が許可され、新たに秋田章二議長（第83代）、十中大雅副議長（第71代）が選出されました。



# 6月議会活動

今年4月から福岡県知事に就任された服部知事に、目指すリーダー像や市町村との連携の仕組みづくりや人間関係づくりについて伺いました。

## Q リーダー像について

知事は、県民によって直接選挙で選ばれるという通常の組織のリーダーとは根本的に異なる点がある。また県知事の決断は、県民の命に直結する極めて重たいものがある。服部知事を目指すリーダー像とは何か。

**A** 県民にとってどうすることがベストか、ベターかを優先に考え、果敢に決断し、進むべき方向性や方針を明確に指し示す、それが知事の役割であると考えている。この決断のためには、県議と議論を行い、また市町村の方々と率直に意見交換を行っていくことが必要である。その上で、県庁の職員を信頼し、力を合わせ、誠実に、愚直に県政を推進していきたい。

## Q 市町村との連携について

市町村との連携の方法やチーム福岡としての仕組みづくりはどのようにするのか。市町村との連携には、仕組みづくりに加え、各地の首長との人間関係づくりも重要である。各市町村首長との人間関係づくりについての所見は。



**A** 福岡、北九州市長とは頻りに連絡を取り合い、率直な意見交換を行っている。その他の市町村長には、電話やウェブ会議などを用い、昼夜を問わず連絡を取り、対話を行ってきた。今後もトップ同士の連携を大切にしたい。同様に、県と市町村の職員同士が日頃からコミュニケーションを円滑に、協力して共に仕事を組み上げていく。今後とも、より密接に連携することにより、チームとしての力を発揮し、課題の解決に向けて取り組んで参る。

## Q デジタル化について

デジタル庁設置に対する受け止め、そして目指す社会についての率直な感想は。そのような国の動きにどう対応していくのか、知事の見解は。



**A** 本県においても、地域づくりを進める上でデジタルの活用は不可欠であり、国が掲げるビジョンの実現に向け、国・地方・民間が連携していくことが重要である。そのため県は、4月情報政策課内に「デジタル戦略推進室」を設置した。また、今年度、本県におけるデジタル社会の在り方を示す「福岡県DX戦略」を策定する。その中で、行政手続のオンライン化を強力に推進、ICTを高度に使いこなす次世代人材を育成。最新技術を駆使した独創的なサービス創出の支援、デジタル化への対応が困難な県民に対してのフォローなどに取り組むことを考えている。

## 豪雨災害視察・知事要請（緑友会）

久留米などでは5年連続6回目の浸水被害が発生するなど、豪雨災害に対処するため、所属会派の緑友会は8月23日現地視察を行い、26日緑友会11名で知事へ要望書を提出しました。知事は、100億円を超える豪雨・農業被害があり、大豆農家も含め農家の方々が今後も営農継続できるよう、経費の一部を支援したいなどの考えを表明されました。



# 9月議会活動

子どもを中心とした地域コミュニティの健全な構築や豪雨災害からいかに人命を守るかという観点から議会活動を行いました。

## Q 子ども食堂について

県として「子ども食堂等」に対する支援の考え方をお聞かせください。



**A** 県では子ども支援オフィスの支援員が子ども食堂を訪問している。また「福岡県こども食堂ネットワーク」から、県に対して①こども食堂は、地域の居場所としての役割を担っている、②地域社会のインフラとして貢献したい、③行政の関与は最小限とし、自主自立的な運営をしたい、④安全に活動するため、ボランティア保険の加入に対する支援をお願いしたい等々の意見を頂いて支援窓口の取り組みを行っているところである。

## Q 災害について

市町村は、多様な避難方法が可能であることを住民へ周知し、促すことが重要だと考えるが、県として市町村へどのような助言等を行っているのか。また、県では、市町村と連携して、自主防災組織や地域住民を対象とした研修の中で、図上訓練も行っているが、この研修で行う住民参加型の訓練の効果は。



**A** 市町村に対し、毎年副市町村長会議や防災担当課長会議などで、多様な避難方法や法改正について説明している。また、災害時に適切な避難行動がとれるように市町村の広報紙やHPなどを活用し、くり返し助言している。

住民参加型訓練については、防災に対する住民の意識付けが図られ、効果が出ていると考えている。今後も訓練に多くの住民に参加して頂き、また近隣の市町村に参観を呼び掛け、ノウハウを習得することで、住民参加型訓練を全県下に広めて参る。

## Q 排水ポンプ車について

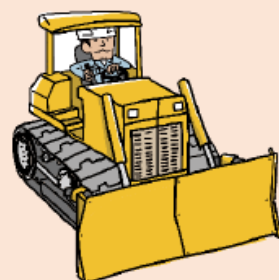
自由に移動できる排水ポンプ車は緊急時には大きな役割を果たすと考えるが、今回の大雨における本県の排水ポンプ車の稼働状況は。また、九州地方整備局の排水ポンプ車の稼働状況は。排水ポンプ車については、被災地からもさらなる配備を求める声が挙がっているが、排水ポンプ車の配備の増強について、知事の所見は。

**A** 県では排水ポンプ車を、福岡地域、北九州地域、筑豊地域、筑後南部地域にそれぞれ1台ずつ、筑後北部地域に2台、合計6台配備している。今年8月の大雨では、久留米市、八女市など、要請に応じて、排水ポンプ車6台全て出動した。九州地方整備局が保有する排水ポンプ車は、県内及び隣接地域の9箇所に出動している。県内の各地域、浸水被害が発生した際、迅速な対応がとれるよう、排水ポンプ車を更に6台導入し、体制強化を図りたいと考えている。この排水ポンプ車の追加導入に係る必要な予算については、追加提案した。

## Q 盛土による災害防止について

国は、熱海市の土石流災害を受け、全国的に盛り土による災害防止に向けた総点検を地方自治体と連携して行うことになり、この点検結果を踏まえ、実効性ある法規制を含めた対応策を検討するものと思われる。この総点検について、県ではどのような体制で対応しているのか、その進捗状況と併せて回答願いたい。

**A** 盛土の点検作業に当たっては、防災危機管理局が事務局となり、環境部、農林水産部、県土整備部、建築都市部の関係各課で構成する庁内連絡会を設置して情報を共有し、対応している。現在、概ね平成12年以降、明確に盛り土と推定される箇所等について把握する作業を行っている。今後、把握した盛り土のうち、国が重点点検箇所と位置付けた盛り土等について、許可・届出等の内容と現状の相違などを、現地で点検することになっている。



## □ 地域での活動

### ◆東山田地区の冠水

昨年、地元区長より「長年にわたり毎年大雨で越水し道や駐車場など冠水をして困っている」と申し出がありましたので、矢矧川の土砂撤去・樹木伐採工事の手続きを行いました。工事が進み、今年は大雨による越水や冠水に至りませんでした。



### ◆県道路に穴4ヶ所

町民から「道路に穴が空いていてバイク等、夜の転倒事故の恐れがあるので直して欲しい」と要望がありました。深さ10cm以上、直径20～40cmの穴が4箇所（岡垣宗像線・県道 茅原交差点・赤井手交差点・バスセンター前）できていることが確認できましたので、県土木へ連絡し、約2時間後には工事が完了して安全が担保されました。



### ◆通学路に草木が生い茂り危険

雑草や樹木が生い茂って、通学路となっている歩道が通行できず、歩行者や小中高生が道路にはみ出して危険との地元から要望が町会議員を通してありました。県道岡垣宮田線（岸元交差点から秋藤・戸切小学校東交差点を過ぎて岡垣と宗像の堺迄）の予定を早めて除去作業を完了しました。



### ◆波津が「にぎやか&華やか」になってきています！

ここ数年で岡垣町の波津の景観がにぎやかに、華やかになっているのを、皆さんお気づきでしょうか？これからもっともっといろいろな地域で頑張る人を応援し協力し遠賀郡の魅力を増大させていけるよう頑張ります。



【元麻生副総理兼財務金融担当大臣が！】



麻生太郎自民党副総裁が、あべ弘彦事務所来訪。各種の政策談義を行い、国と地域が一丸となって国民（町民）のため、ともに全力で責任を果たしてゆかなければならないとの強い意志を共有できました。

皆様のご意見をお聞かせください！

住所：遠賀郡岡垣町中央台5丁目1-25

電話：093-701-6600 FAX：093-701-6610

HP：<http://abechan.buf.jp>

✉：abechan@buf.jp



最後までお読みいただきありがとうございました。

引き続き皆様方のために頑張りますので、ご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。